

2020年9月4日

ものづくり技術交流会 2020 ～分析に役立つ基礎技術～
パネルディスカッション開催における新型コロナウイルス感染防止策について

分析イノベーション交流会 実行委員長 豊田 太郎 (東京大学)
副実行委員長 東海林 敦 (東京薬科大学)
ものづくり技術交流会 2020 特別実行委員長 手嶋 紀雄 (愛知工業大学)

名称： ものづくり技術交流会 2020 ～分析に役立つ基礎技術～ パネルディスカッション
日時： 2020年9月18日(金) 16:00 – 16:30
場所： 名古屋商工会議所 会議室
(名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル)

- 防止策 1) 会場として使用する会議室(184 m²、84名定員(会議室 D)、換気能力: 2859.9 m³/h (参考: コロナ感染対策における必要換気量: 1441.9 m³/h) の入室前に、マイク、および、机、椅子などを什器やドアノブなどをアルコール消毒しておく。
- 防止策 2) 関係者全員に対して、少なくとも3日前より体温を記録し、検温記録表に記入していただく。3日間、体温が 37℃以下の者のみ、パネルディスカッションに参加する。
- 防止策 3) 会場入口に手指消毒用のアルコールを設置する。
- 防止策 4) パネリスト 6名、進行役 2名それぞれに、アクリル製コの字型シールド 1台ずつを使っただく。
- 防止策 5) 全員(10名)は、ソーシャルディスタンスを保持した位置で、着席する。
- 防止策 6) パネルディスカッション時間は最長でも 30分とする。開始時間 5分前に入室、終了後、司会者がすぐにマスクの着用を促し、マスクを着用してからただちに退室していただく。
- 防止策 7) 司会者から指名されたパネリスト以外は、口を開かない。
- 防止策 8) パネルディスカッションの前後、マスクを着用していた場合においても集まって会話しない。
- 防止策 9) 上記 8名に、個別のマイクを設置し、それらマイク(USB ハブを分岐として使う)と広角 web カメラを接続した PC をつかって、会場全体を配信する。
- 防止策 10) 会場の会議室では、天候がよほど不順でない限り、窓を開けておく。
- 防止策 11) パネルディスカッションの直前まで、パネリストと司会はマスクをする。パネルディスカッションが終了し次第、再びマスクをする。
- 防止策 12) パネルディスカッションで使用したものは全てアルコール消毒をしてから片付ける。
- 防止策 13) 補助係(名古屋商工会議所 2名)は常にマスクをし、待機時は、パネリストや司会から距離をとっておく。
- 防止策 14) 会議室に入室する 10名は、厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を

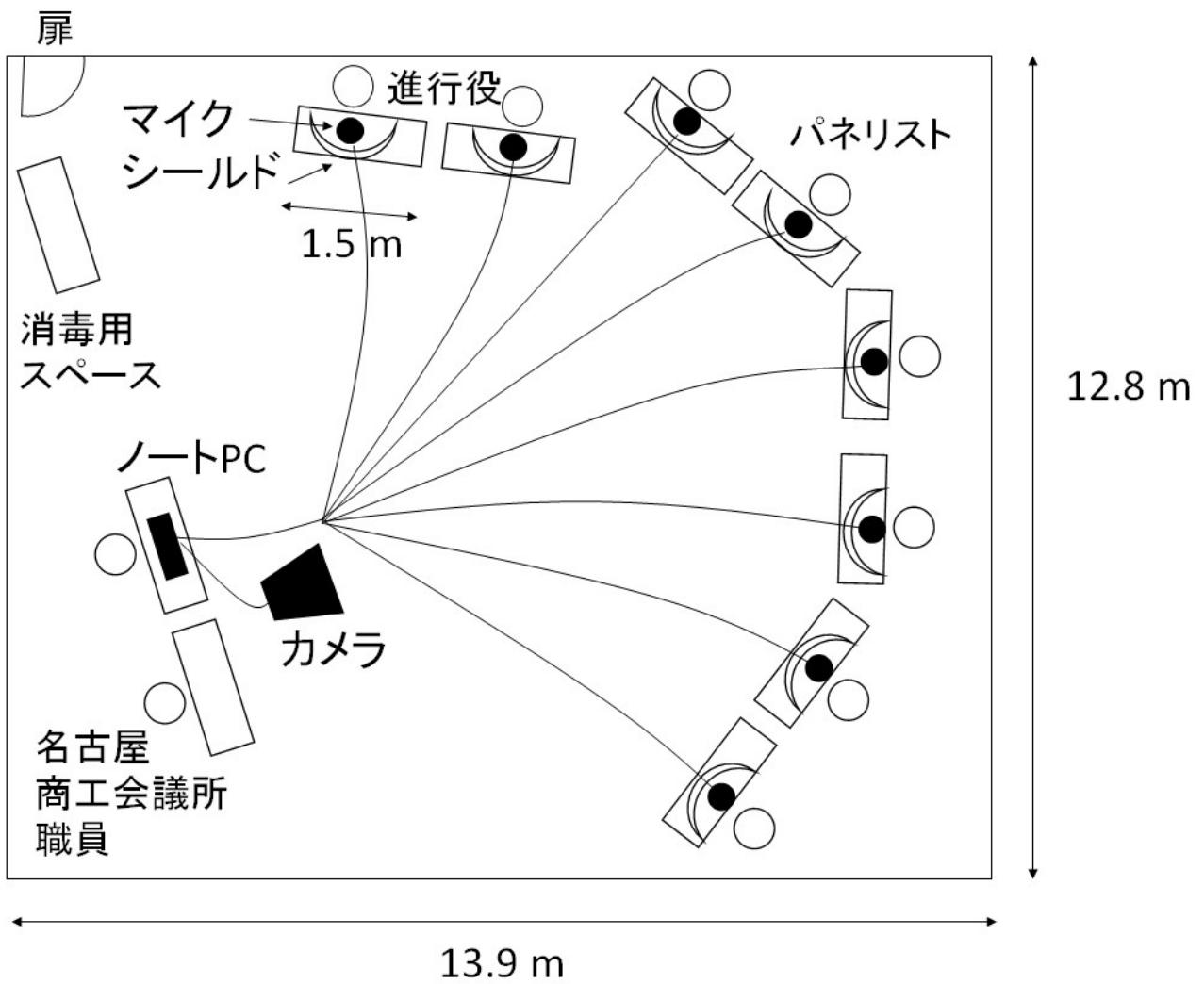
前日までに各自のスマートフォンにインストールしておく。

防止策 1 5) スマートフォンを所持しない者は、パネルディスカッション実施後 2 週間程度は、行動記録表に外出先や時間の記録を付ける。行動記録は、各自、パネルディスカッション後 1 か月は保存する。

防止策 1 6) パネルディスカッション後の打ち上げは自粛する。

防止策 1 7) 事前の打ち合わせ等は Web で行う。

以上



(資料2)

検温記録

所属：

氏名：

	体温	その他の症状
9月16日 (木)		
9月17日 (木)		
9月18日 (金)		

行動記録 (パネルディスカッション前)

所属：

氏名：

9 月

日にち	時間	外出先	日にち	時間	外出先
4 日			11 日		
5 日			12 日		
6 日			13 日		
7 日			14 日		
8 日			15 日		
9 日			16 日		
10 日 (17 日		

行動記録 (パネルディスカッション後)

所属：

氏名：

9 月

日にち	時間	外出先	日にち	時間	外出先
19 日			26 日		
20 日			27 日		
21 日			28 日		
22 日			29 日		
23 日			30 日		
24 日			10 月 1 日		
25 日 (10 月 1 日		